

大学番号：国070

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

事前伺い

愛媛大学 農学部 食料生産学科

愛媛大学 農学部 生命機能学科

愛媛大学 農学部 生物環境学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 愛媛大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部経営企画課

職名・氏名 経営企画課長 ^{マサダ} 政田 ^{マサヤ} 真弥

電話番号 089-927-9012

（夜間） 089-927-9012

F A X 089-927-9025

e-mail hyouka@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

農学部

＜食料生産学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

＜生命機能学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	24
2. 授業科目の概要	28
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	39
6. 留意事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

＜生物環境学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	46
2. 授業科目の概要	50
3. 施設・設備の整備状況、経費	57
4. 既設大学等の状況	58
5. 教員組織の状況	62
6. 留意事項等に対する履行状況等	66
7. その他全般的事項	67

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学

(3) 大学の位置

〒790-8566
愛媛県松山市樽味3丁目5番7号
(〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事		該当なし	
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 食料生産学科 学士 (農)	4年	70人	5年次人	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 (-) [-]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.08倍	
志願者数	163 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	122 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	79 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	76 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.08									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 76	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 76	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	76 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	76 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 食料生産学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次科目	新入生セミナーA	1①	2								兼1	
	新入生セミナーB	1②	2			4					兼7 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	こころと健康	1①②	2			1		1			兼9 18	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	スポーツ	1①②	1								兼14 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
基礎科目	英語Ⅰ	1①	1								兼10 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅱ	1②	1								兼11 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅲ	1③	1								兼11 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅳ	1④	1								兼9 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	情報リテラシー入門Ⅰ	1①	1								兼12 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	情報リテラシー入門Ⅱ	1②	1								兼12 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	社会力入門	1④	1								兼13 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	日本語リテラシー入門	1② 1③	1								兼9 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	解析学入門	1①②	2								兼3	
	愛媛学	1②	1								兼5 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
主題探求型科目	環境を考える	1③④・2①②		1		4	2		4		兼13 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	倫理と思想を考える	1③④-2①② 2③④		1							兼4 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	歴史を考える	1③④・2①②③④		1							兼6 9	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	ことばの世界	1③④・2①②		1							兼8 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	芸術の世界	1③④・2①②		1							兼8 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	地域と世界	1③④・2①②③④		1							兼5 11	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	社会のしくみを考える	1③④・2①②③④		1							兼10 6	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	現代社会の諸問題	1③④・2①②③④		1		4					兼25 16	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	現代と科学技術	1③④-2①② 2③④		1		4	4				兼14 5	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	自然のしくみ	1③④-2①②		1		2		4			兼9 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	生命の不思議	1③④-2①②		1		3	2				兼7 12	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
総合分野	環境学入門	1①②③④-2①②		1							兼2 4	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	人間科学入門	1①②③④-2①②		1							兼1 3	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	生活科学入門	1①②③④-2①②		1							兼3 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
人文学分野	哲学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	文学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3	共通教育科目の改編による配当年度の 見直しのため(28)
	言語学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 1	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	歴史学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	考古学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	地理学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 1	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
学問分野別科目	法学入門	1①②③④-2①②		1							兼3	共通教育科目の改編による配当年度の 見直しのため(28)
	政策科学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 1	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	経済学入門	1①②③④-2①②		1							兼1 6	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	社会学入門	1①②③④-2①② 1③④		1							兼3 2	共通教育科目の改編による配当年度及び教員配置の見直しのため(28)
	心理学入門	1①②③ ④-2①② 未開講		1							兼1	科目間の担当教員調整の結果、平成29年度以降に開講(28)

教養科目	自然科学分野	日本国憲法	1③④	2					兼 4 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		数学入門	1①②③④ → ①② 1①②	1					兼 4 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		物理学入門	1①②③④ → ①②③	1					兼 4 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		化学入門	1①②③④ → ①②③	1					兼 2 4	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		生物学入門	1①②③④ → ①② 1①②	1			1		兼 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		地学入門	1①②③④ → ①② 1①②	1					兼 2 1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		工学入門	1①②③④ → ①② 1①③④	1					兼 4 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		農学入門	1①②③④ → ①②③	4			4		兼 4	農学部学生向けには、1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため (28)
	初修外国語	初級ドイツ語 I	1①		1				兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級ドイツ語 II	1②		1				兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級ドイツ語 III	1③		1				兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級ドイツ語 IV	1④		1				兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級フランス語 I	1①		1				兼 5 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級フランス語 II	1②		1				兼 5 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級フランス語 III	1③		1				兼 4 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級フランス語 IV	1④		1				兼 4 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級中国語 I	1①		1				兼 2 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級中国語 II	1②		1				兼 2 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級中国語 III	1③		1				兼 6 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		初級中国語 IV	1④		1				兼 6 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
初級朝鮮語 I		1①		1				兼 3 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
初級朝鮮語 II		1②		1				兼 3 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
初級朝鮮語 III		1③		1				兼 3		
初級朝鮮語 IV		1④		1				兼 3		
初級フィリピン語 I	1①		1				兼 1			
初級フィリピン語 II	1②		1				兼 1			
初級フィリピン語 III	1③		1				兼 1			
初級フィリピン語 IV	1④		1				兼 1			
高年次 科目 教養	文系主題科目	2③④		2				兼 5		
	理系主題科目	2③④		2				兼 3		
養成 英語 コース に 関 ス ル 科 目	Oral Communication	2①②③④		2				兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)	
	Speaking & Reading Strategies	2①②③④		2				兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)	
	Effective Presentations	2①②③④		2				兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)	
	Writing Workshop	2①②③④		2				兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)	
	Academic Reading	2①②		2				兼 1		
	Writing Strategies	2③④		2				兼 1		
	Discussion Skills	2③④		2				兼 1		
	English For Academic Research	2①②		2				兼 1		
	Business English	2③④		2				兼 1		
	Introducing Japanese Culture in English	2①②		2				兼 1		
	Oral Performance	2③④		2				兼 1		
	Introductory Interpretation	2①②		2				兼 1		
	Studying English Abroad I	1①②		2				兼 1		
Studying English Abroad II	1③④		2				兼 1			
愛媛大学リ ーダ ーズ・ス ク ー ル に 関 ス ル 科 目	愛媛大学リーダーズ・スクール	1①②③④		2				兼 3 2 1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)	
	グローバル・リーダーシップ I	1③④		1				兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
	グローバル・リーダーシップ II	1③④		1				兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
サ ー バ ン ト に 関 ス ル 科 目	地域未来創成入門	1①②③④		1				兼 3 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)	
	カルチャーシェアリング	1①②		1				兼 3 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
	ベーシック国内サービスラーニング	1①②		4				兼 4 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
	アドバンスド国内サービスラーニング	1①② 2①②		4				兼 4 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)	

発展科目	科目 1 目	ベーシック海外サービスラーニング	1③④			4							兼 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)		
		アドバンスド海外サービスラーニング	1③④ 2③④			4							兼 3 兼 2			
	環境ESD指導者養成講座に関する科目	持続可能な社会づくり(ESD)	1①②				2							兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)	
		環境ESD指導者養成講座I	1③④				4							兼 1		
		環境ESD指導者養成講座II	2①②				4							兼 1		
		環境ESD指導者養成演習I	2③④3①②				2							兼 1		
		環境ESD指導者養成演習II	2③④3①②				2							兼 1		
	スキルアップ科目	英語S1	1①②				2							兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)	
		英語S2	1③④				2							兼 1		
		英語S3	2①②③④				2							兼 7		
ドイツ語S1		2①②③④				2							兼 1			
ドイツ語S2		2①②③④				2							兼 1			
ライフスポーツ		2①②				1							兼 2			
食育士プログラムに関する科目	食育入門	1③④				1	2			1			兼 1	共通教育科目の改編による教員配置の見直しのため(28)		
	食育総論	2①②				2	2 3	1 2		1			兼 3 兼 2			
防災・環境に関する科目	環境防災学	1①②				2							兼 1			
許容教員免除に関する科目	スポーツと教育	1③④				1							兼 9 兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)		
プログラムに関する科目	知の最前線に学ぶ	2③④				1							兼 3			
	プロジェクト学習	2③④				2							兼 3			
留学生対象科目	日本語科目	アカデミックジャパニーズ1	1①			1							兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)		
		アカデミックジャパニーズ2	1②			1							兼 1			
		アカデミックジャパニーズ3	1③			1									兼 2 兼 1	
		アカデミックジャパニーズ4	1④			1									兼 2 兼 1	
		日本語A1	1①②			2									兼 2	
		日本語A2	1③④			2									兼 2	
		日本語B1	1①②			2									兼 2	
		日本語B2	1③④			2									兼 2	
		日本語口頭表現C1	1①②			1									兼 1	
		日本語口頭表現C2	1③④			1									兼 1	
		日本語読解作文C1	1①②			1									兼 1	
		日本語読解作文C2	1③④			1									兼 1	
		日本語口頭表現D1	1①②			1									兼 1	
		日本語口頭表現D2	1③④			1									兼 1	
		日本語読解作文D1	1①②			1									兼 1	
		日本語読解作文D2	1③④			1									兼 1	
		日本語口頭表現E1	1①②			1									兼 1	
		日本語口頭表現E2	1③④			1									兼 1	
		日本語読解作文E1	1①②			1									兼 1	
		日本語読解作文E2	1③④			1									兼 1	
		日本語総合E1	1①②			1									兼 1	
		日本語総合E2	1③④			1									兼 1	
		日本語漢字A1	1①②			2									兼 1 兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		日本語漢字A2	1③④			2									兼 1 兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		日本語漢字表記B1	1①②			1									兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		日本語漢字表記B2	1③④			1									兼 1	
日本語漢字語彙B1	1①②			1								兼 1				
日本語漢字語彙B2	1③④			1								兼 1				
日本事情に関する科目	日本事情A1	1①②				2							兼 1			
	日本事情A2	1③④				2							兼 1			
	日本事情B1	1①②				2							兼 2			
	日本事情B2	1③④				2							兼 1			

	環境保全型農業論	3または4	2							兼1	
	専攻セミナーⅢ	3・4	1			4 6	2 1		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)
知 学 特 別 食 料 工 学 生 産 科	知能的食料生産学概論	2前	2			1					
	知能的食料生産学演習	2後	1			1					
	知能的食料生産学実験・実習	2後・3前	2			1					
	卒業論文	3後・4 又は 3・4前	6			12 16	10	1	7 5		教育体制強化のため、教員増及び担当教員の昇任のため、職位を変更(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
60	103	90	253	60	102	92	254	
				[]	[Δ1]	[2]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	心理学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	科目間の担当教員調整の結果，平成29年度以降に開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	農学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	他学部学生向けには開講しているが，農学部学生向けには，1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見…本学の教育・学生支援機構共通教育センターにおいてカリキュラム改訂に伴う共通教育科目の科目改編を行い，科目間の担当教員を調整の結果，「心理学入門」については，平成29年度以降に開講することとなった。また，1年次に専門教育の学部共通科目において，農学の基礎を学ぶ「現代農業原論」を開講することに鑑み，「農学入門」は受講対象外とすることとした。いずれも履修機会の多様性は若干縮小されるが，併せて科目の追加もっており，基礎的知識の習得には特に影響はない。

学生への周知方法…掲示，時間割表，履修案内等の冊子類及び新入生への履修指導のガイダンスにより周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	2	=	
設置時の計画の授業科目数の計	253		0

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²		m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
		〇〇学部 〇〇学科		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部									
人文科学科									
(昼間主コース)	4	275	3年次10	1120	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.04	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
(夜間主コース)	4	90	3年次20	400	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.07	平成28年度	〃	
総合政策学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
人文学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士 (教育学)	1.09	平成11年度	愛媛県松山市文京町3番	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	〃	
総合人間形成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
スポーツ健康科学課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
芸術文化課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	〃	平成28年度より学生募集停止
社会共創学部									
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.05	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創学)	1.02	平成28年度	〃	
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	

理学部											
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.10	平成17年度	愛媛県松山市 文京町2番5号			
物理学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	平成17年度	〃			
化学科	4	52	-	208	学士 (理学)	1.05	平成17年度	〃			
生物学科	4	43	-	172	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃			
地球科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃			
医学部											
医学科	6	110	2年次 5	673	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	愛媛県東温市 志津川			
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.01	平成6年度	〃			
工学部											
機械工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	愛媛県松山市 文京町3番			
電気電子工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	平成3年度	〃			
環境建設工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.06	平成8年度	〃			
機能材料工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.05	平成8年度	〃			
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	〃			
情報工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.07	平成3年度	〃			
(学科共通)	-	-	3年次 10	20							
農学部											
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.08	平成28年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号			
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	平成28年度	〃			
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.05	平成28年度	〃			
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	昭和63年度	〃			平成28年度より 学生募集停止
法文学研究科											
(修士課程)											
総合法政策専攻	2	15	-	30	修士 (法学、経済学、学 術)	0.50	平成10年度	愛媛県松山市 文京町3番			
人文科学専攻	2	10	-	20	修士 (人文科学)	0.90	平成10年度	〃			
教育学研究科											

(修士課程)						
特別支援教育専攻						
特別支援学校教育専修	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.10 平成17年度 愛媛県松山市 文京町3番
特別支援教育コーディネーター専修	1	6	-	6	修士 (教育学)	0.75 平成17年度 //
教科教育専攻	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.80 平成5年度 //
学校臨床心理学専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.33 平成16年度 //
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	- 平成5年度 //
(専門職学位課程)						
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.26 平成28年度 //
医学系研究科						
(博士課程)						
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.92 平成18年度 愛媛県東温市 志津川
(修士課程)						
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.81 平成10年度 //
理工学研究科						
(博士前期課程)						
生産環境工学専攻	2	62	-	124	修士 (工学)	1.15 平成18年度 愛媛県松山市 文京町3番
物質生命子医学専攻	2	61	-	122	修士 (工学)	1.02 平成18年度 //
電子情報工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	0.79 平成18年度 //
数理物質科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	0.90 平成18年度 //
環境機能科学専攻	2	28	-	56	修士 (理学)	0.81 平成18年度 //
(博士後期課程)						
生産環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	1.66 平成18年度 //
物質生命子医学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66 平成18年度 //
電子情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.91 平成18年度 //
数理物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.58 平成18年度 //
環境機能科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.91 平成18年度 //
農学研究科						
(修士課程)						
食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	0.76 平成28年度 愛媛県松山市 味3丁目5番7号

平成28年度より
学生募集停止

生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.91	平成28年度	〃	
生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.73	平成28年度	〃	
生物資源学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成9年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
連合農学研究科 (博士課程)									
生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学 術)	0.88	昭和60年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号	
生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	2.16	昭和60年度	〃	
生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	1.00	昭和60年度	〃	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は, 専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)

(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 食料生産学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	○○○○ (○○)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成26年4月	国際経済学	平成26年3月 ○○○教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成26年4月	商 法	該当なし					……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成28年10月	金 融 論	後任未定					平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成28年4月	○○○○論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○○学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
19	13	0	7	39	15	10	1	6	32	15	12	1	6	34
(18)	(12)	(0)	(7)	(37)						[Δ4]	[Δ1]	[1]	[Δ1]	[Δ5]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 食料生産学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	該当なし
---	------

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・平成28年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）
・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学

(3) 大学の位置

〒790-8566
愛媛県松山市樽味3丁目5番7号
(〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事		該当なし	
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 生命機能学科 学士 (農)	4年	45人	2年次人	184人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	45人 (-) [-]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.04倍	
志願者数	183 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	140 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	53 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	47 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.04									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) 47	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 47	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	47 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	47 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 生命機能学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次科目	新入生セミナーA	1①	2			1						兼1 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	新入生セミナーB	1②	2			4						兼7 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	こころと健康	1①②	2			1						兼9 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	スポーツ	1①②	1									兼20 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
基礎科目	英語Ⅰ	1①	1									兼6 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅱ	1②	1									兼11 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅲ	1③	1									兼6 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	英語Ⅳ	1④	1									兼9 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	情報リテラシー入門Ⅰ	1①	1									兼12 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	情報リテラシー入門Ⅱ	1②	1									兼12 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	社会力入門	1④	1									兼3 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	日本語リテラシー入門	1② 1③	1									兼9 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	解析学入門	1①②	2									兼3
	愛媛学	1②	1									兼5 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
主題探求型科目	環境を考える	1③④・2①②		1		1	2			1		兼13 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	倫理と思想を考える	1③④・2③④		1								兼4 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	歴史を考える	1③④・2①②③④		1								兼6 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	ことばの世界	1③④・2①②		1								兼8 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	芸術の世界	1③④・2①②		1								兼8 共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	地域と世界	1③④・2①②③④		1								兼5 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	社会のしくみを考える	1③④・2①②③④		1								兼11 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	現代社会の諸問題	1③④・2①②③④		1					1			兼25 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	現代と科学技術	1③④・2③④		1				1	1			兼14 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	自然のしくみ	1③④・2③④		1					2			兼9 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	生命の不思議	1③④・2③④		1					3	2		兼7 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	総合分野	環境学入門	1①②③④・2③④		1							
人間科学入門		1①②③④・2③④		1								兼1 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
生活科学入門		1①②③④・2③④		1				1				兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
人文学分野	哲学入門	1①②③④・2③④		1								兼2 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	文学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	言語学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	歴史学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	考古学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	地理学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
学問分野別科目	法学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	政策科学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	経済学入門	1①②③④・2③④		1								兼1 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	社会学入門	1①②③④・2③④		1								兼3 共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)

教養科目	心理学入門	1①②③④+2 ①②未開講	1						兼 1	科目間の担当教員調整の結果、平成29年度以降に開講 (28)
	日本国憲法	1③④	2						兼 4 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
自然科学分野	数学入門	1①②③④+2 ④⑤ 1①②	1						兼 4 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	物理学入門	1①②③④+④⑤⑥	1						兼 1 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	化学入門	1①②③④+④⑤⑥	1		1				兼 2 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	生物学入門	1①②③④+2 ④⑤ 1①②	1			1			兼 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	地学入門	1①②③④+2 ④⑤ 1①②	1						兼 2 1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	工学入門	1①②③④+2 ④⑤ 1①③④	1						兼 1 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	農学入門	1①②③④+④⑤⑥	1			1			兼 11	農学部学生向けには、1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため (28)
初修外国語	初級ドイツ語 I	1①	1						兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級ドイツ語 II	1②	1						兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級ドイツ語 III	1③	1						兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級ドイツ語 IV	1④	1						兼 4 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級フランス語 I	1①	1						兼 5 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級フランス語 II	1②	1						兼 5 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級フランス語 III	1③	1						兼 4 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級フランス語 IV	1④	1						兼 4 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級中国語 I	1①	1						兼 2 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級中国語 II	1②	1						兼 2 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級中国語 III	1③	1						兼 5 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級中国語 IV	1④	1						兼 5 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級朝鮮語 I	1①	1						兼 3 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級朝鮮語 II	1②	1						兼 3 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	初級朝鮮語 III	1③	1						兼 3	
	初級朝鮮語 IV	1④	1						兼 3	
初級フィリピン語 I	1①	1						兼 1		
初級フィリピン語 II	1②	1						兼 1		
初級フィリピン語 III	1③	1						兼 1		
初級フィリピン語 IV	1④	1						兼 1		
高年次 科目	文系主題科目	2③④	2						兼 5	
	理系主題科目	2③④	2						兼 3	
養成 英語 コース に 関 す る 科 目	Oral Communication	2①②③④	2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
	Speaking & Reading Strategies	2①②③④	2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
	Effective Presentations	2①②③④	2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
	Writing Workshop	2①②③④	2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
	Academic Reading	2①②	2						兼 1	
	Writing Strategies	2③④	2						兼 1	
	Discussion Skills	2③④	2						兼 1	
	English For Academic Research	2①②	2						兼 1	
	Business English	2③④	2						兼 1	
	Introducing Japanese Culture in English	2①②	2						兼 1	
	Oral Performance	2③④	2						兼 1	
	Introductory Interpretation	2①②	2						兼 1	
Studying English Abroad I	1①②	2						兼 1		
Studying English Abroad II	1③④	2						兼 1		
大 学 リ ー ダ ー ズ リ ー ダ ー ズ ス ク ー ル に 関 す る 科 目	愛媛大学リーダーズ・スクール	1①②③④	2						兼 3 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	グローバル・リーダーシップ I	1③④	1						兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	グローバル・リーダーシップ II	1③④	1						兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
..	地域未来創成入門	1①②③④	1						兼 3 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)

発展科目	サーバンタント・リーダー養成に関する科目	カルチャーシェアリング	1①②		1					兼 3 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
		ベーシック国内サービスマスターニング	1①②		4					兼 3 4		共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		アドバンスド国内サービスマスターニング	1①② 2①②		4					兼 3 4		共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
		ベーシック海外サービスマスターニング	1③④		4					兼 3		
		アドバンスド海外サービスマスターニング	1③④ 2③④		4					兼 3 2		共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため (28)
	環境ESD指導者養成講座に関する科目	持続可能な社会づくり (ESD)	1①②		2						兼 1	
		環境ESD指導者養成講座 I	1③④		4						兼 1	
		環境ESD指導者養成講座 II	2①②		4						兼 1	
		環境ESD指導者養成演習 I	2③④3①②		2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
		環境ESD指導者養成演習 II	2③④3①②		2						兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)
スキルアップ科目	英語 S 1	1①②		2						兼 1		
	英語 S 2	1③④		2						兼 1		
	英語 S 3	2①②③④		2						兼 7	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため (28)	
	ドイツ語 S 1	2①②③④		2						兼 1	共通教育科目の改編のため科目を追加 (28)	
	ドイツ語 S 2	2①②③④		2						兼 1	共通教育科目の改編のため科目を追加 (28)	
ライフスポーツ	2①②		1						兼 2			
食育に関する科目	食育入門	1③④		1						兼 1 3	共通教育科目の改編による教員配置の見直しのため (28)	
	食育総論	2①②		2	2	4				兼 3 8	共通教育科目の改編による教員配置の見直しのため (28)	
環境防災学に関する科目	環境防災学	1①②		2						兼 1		
	スポーツと教育	1③④		1						兼 9 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
自律学習に関する科目	知の最前線に学ぶ	2③④		1						兼 3		
	プロジェクト学習	2③④		2						兼 3		
留学生対象科目	日本語科目	アカデミックジャパニーズ 1	1①		1					兼 1		
		アカデミックジャパニーズ 2	1②		1					兼 1		
		アカデミックジャパニーズ 3	1③		1						兼 2 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		アカデミックジャパニーズ 4	1④		1						兼 2 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
		日本語 A 1	1①②		2						兼 2	
		日本語 A 2	1③④		2						兼 2	
		日本語 B 1	1①②		2						兼 2	
		日本語 B 2	1③④		2						兼 2	
		日本語口頭表現 C 1	1①②		1						兼 1	
		日本語口頭表現 C 2	1③④		1						兼 1	
		日本語読解作文 C 1	1①②		1						兼 1	
		日本語読解作文 C 2	1③④		1						兼 1	
		日本語口頭表現 D 1	1①②		1						兼 1	
		日本語口頭表現 D 2	1③④		1						兼 1	
		日本語読解作文 D 1	1①②		1						兼 1	
		日本語読解作文 D 2	1③④		1						兼 1	
		日本語口頭表現 E 1	1①②		1						兼 1	
		日本語口頭表現 E 2	1③④		1						兼 1	
		日本語読解作文 E 1	1①②		1						兼 1	
		日本語読解作文 E 2	1③④		1						兼 1	
		日本語総合 E 1	1①②		1						兼 1	
		日本語総合 E 2	1③④		1						兼 1	
日本語漢字 A 1	1①②		2						兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)		
日本語漢字 A 2	1③④		2						兼 1 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)		
日本語漢字表記 B 1	1①②		1						兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)		
日本語漢字表記 B 2	1③④		1						兼 1			
日本語漢字語彙 B 1	1①②		1						兼 1			
日本語漢字語彙 B 2	1③④		1						兼 1			
日本事情に関する科目	日本事情 A 1	1①②		2						兼 1		
	日本事情 A 2	1③④		2						兼 1		
	日本事情 B 1	1①②		2						兼 2		
	日本事情 B 2	1③④		2						兼 1		

学部共通科目	現代農業論	1前	2			2	4			兼 12 15	教育体制強化のため教員数を増加(28)		
	農学実習 I C	1前	0.5			2	4		4		担当教員交代のため、職位を変更(28)		
	農学実習 I D	1後	0.5			2	4		4		担当教員交代のため、職位を変更(28)		
	統計学入門	1後	2							兼 2			
	技術者の初歩	2前	2							兼 1			
	農学先端研究	2~4		1		1							
	地域プロジェクト	1~4		2		1							
	キャリアデザイン	3・4		2						兼 1			
	現代応用生物科学	2後		1						兼 6			
	植物工場システム学	3前		2						兼 14			
生命機能学科	学科共通科目	応用生命化学概論	1後	2		6	5		4		兼 6	教員死亡による教授1名減、担当教員の昇任のため職位を変更(28)	
		食品健康科学概論	1後	2		2	1		4			担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		分子生物学	1後	2			1	5		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		化学	1後	2			1						
		生物学	1後	2							兼 6		
		物理学	1前		2						兼 11		
		地学	1前		2						兼 1		
		有機化学 I	2前	2			1						
		生物化学 I	2前	2			1	4				担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		分析化学	2前	2				1					
		基礎生理学	2前	2			2						
		有機化学 II	2後	2			1						
		生物化学 II	2後	2			1						
		生命機能学基礎実験	2後	2			4	6		2		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		生命機能学実験 I	2後	4			4	2		1		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		コンピュータ演習	2後	1			1	1		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		生命機能学実験 II	3前	4			3	2		2		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		分子生物学実験	3前	2				3	4		4	担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		無機化学	2前		2			1					
		木質高分子化学	2後		2							兼 1	
		酵素化学	2後		2		1	4					担当教員の昇任のため、職位を変更(28)
		遺伝子制御学	2後		2				1		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)
		食品化学	3前		2		1						
		有機機器分析学	3前		2			1			4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)
		農業科学	3前		2			1			4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)
		食品微生物学	3前		2						1		
		食品保存学	3前		2		1						
		遺伝子解析学	3前		2				1				
公衆衛生学	3前		2							兼 1			
生物制御化学	3後		2				1		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)		
食品製造学	3後		2				1						
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1							兼 11			
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1		4	5	7		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)		
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1		4	4	5		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)		
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1		5	7			1				
専門科目	応用生命化学コース	基礎微生物学	2前	2			1						
		植物生理学	2後	2			1						
		応用生命化学セミナー I	3通	2			4	5		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
		応用生命化学セミナー II	4通	2			5	7		4		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	健康機能学	基礎栄養科学	2前	2			1						
		食品分析学	2後	2			1						
		食品機能学	2後	2			1						
		食品栄養学	2後	2		1							
		動物細胞工学	3前	2		1							

科目	栄養科学 特別 コース	食品衛生学	3前	2						兼1	兼1 兼1 兼1 担当教員の昇任のため、職位を変更(28) 兼1 教育体制強化のため教授1名増、担当教員の昇任のため職位を変更(28) 兼1 教育体制強化のため教授1名増、担当教員の昇任のため職位を変更(28) 兼1 教育体制強化のため教授1名増、担当教員の昇任のため職位を変更(28) 兼1 教育体制強化のため教授1名増、担当教員の昇任のため職位を変更(28) 兼1 教育体制強化のため教授1名増、担当教員の昇任のため職位を変更(28)
		公衆栄養学	3前	2						兼1	
		健康機能栄養科学実習	3前	1		1	1		+	兼1	
		臨床栄養学	3後	2						兼1	
		健康機能栄養科学演習	3後	1		+	1		+	兼1	
		健康機能栄養科学セミナーI	3通	2		+	1		+	兼1	
		健康機能栄養科学セミナーII	4通	2		+	1		+	兼1	
		卒業論文	3後・4 又は 3・4前	6			4	5	7	4	

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
52	59	90	201	52	58	92	202	
				[0]	[Δ1]	[2]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	心理学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	科目間の担当教員調整の結果，平成29年度以降に開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	農学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	他学部学生向けには開講しているが，農学部学生向けには，1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見…本学の教育・学生支援機構共通教育センターにおいてカリキュラム改訂に伴う共通教育科目の科目改編を行い，科目間の担当教員を調整の結果，「心理学入門」については，平成29年度以降に開講することとなった。また，1年次に専門教育の学部共通科目において，農学の基礎を学ぶ「現代農業原論」を開講することに鑑み，「農学入門」は受講対象外とすることとした。いずれも履修機会の多様性は若干縮小されるが，併せて科目の追加もっており，基礎的知識の習得には特に影響はない。

学生への周知方法…掲示，時間割表，履修案内等の冊子類及び新入生への履修指導のガイダンスにより周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	2	=	
設置時の計画の授業科目数の計	201		0

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²			m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
		〇〇学部 〇〇学科		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部									
人文科学科									
(昼間主コース)	4	275	3年次10	1120	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.04	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
(夜間主コース)	4	90	3年次20	400	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.07	平成28年度	〃	
総合政策学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
人文学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士 (教育学)	1.09	平成11年度	愛媛県松山市文京町3番	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	〃	
総合人間形成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
スポーツ健康科学課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
芸術文化課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	〃	平成28年度より学生募集停止
社会共創学部									
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.05	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創学)	1.02	平成28年度	〃	
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	

理学部										
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.10	平成17年度	愛媛県松山市 文京町2番5号		
物理学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	平成17年度	〃		
化学科	4	52	-	208	学士 (理学)	1.05	平成17年度	〃		
生物学科	4	43	-	172	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃		
地球科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃		
医学部										
医学科	6	110	2年次 5	673	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	愛媛県東温市 志津川		
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.01	平成6年度	〃		
工学部										
機械工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	愛媛県松山市 文京町3番		
電気電子工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	平成3年度	〃		
環境建設工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.06	平成8年度	〃		
機能材料工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.05	平成8年度	〃		
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	〃		
情報工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.07	平成3年度	〃		
(学科共通)	-	-	3年次 10	20						
農学部										
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.08	平成28年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号		
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	平成28年度	〃		
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.05	平成28年度	〃		
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	昭和63年度	〃		平成28年度より 学生募集停止
法文学研究科										
(修士課程)										
総合法政策専攻	2	15	-	30	修士 (法学、経済学、学 術)	0.50	平成10年度	愛媛県松山市 文京町3番		
人文科学専攻	2	10	-	20	修士 (人文科学)	0.90	平成10年度	〃		
教育学研究科										

(修士課程)											
特別支援教育専攻											
特別支援学校教育専修	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.10	平成17年度	愛媛県松山市 文京町3番			
特別支援教育コーディネーター専修	1	6	-	6	修士 (教育学)	0.75	平成17年度	〃			
教科教育専攻	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.80	平成5年度	〃			
学校臨床心理学専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.33	平成16年度	〃			
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成5年度	〃			平成28年度より 学生募集停止
(専門職学位課程)											
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.26	平成28年度	〃			
医学系研究科											
(博士課程)											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.92	平成18年度	愛媛県東温市 志津川			
(修士課程)											
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.81	平成10年度	〃			
理工学研究科											
(博士前期課程)											
生産環境工学専攻	2	62	-	124	修士 (工学)	1.15	平成18年度	愛媛県松山市 文京町3番			
物質生命子医学専攻	2	61	-	122	修士 (工学)	1.02	平成18年度	〃			
電子情報工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	0.79	平成18年度	〃			
数理物質科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	0.90	平成18年度	〃			
環境機能科学専攻	2	28	-	56	修士 (理学)	0.81	平成18年度	〃			
(博士後期課程)											
生産環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	1.66	平成18年度	〃			
物質生命子医学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	平成18年度	〃			
電子情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.91	平成18年度	〃			
数理物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.58	平成18年度	〃			
環境機能科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.91	平成18年度	〃			
農学研究科											
(修士課程)											
食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	0.76	平成28年度	愛媛県松山市樽 味3丁目5番7号			

生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.91	平成28年度	〃	
生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.73	平成28年度	〃	
生物資源学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成9年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
連合農学研究科 (博士課程)									
生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学 術)	0.88	昭和60年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号	
生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	2.16	昭和60年度	〃	
生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	1.00	昭和60年度	〃	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は, 専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)

(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 生命機能学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	○○○○ (○○)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成26年4月	国際経済学	平成26年3月 ○○○教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成26年4月	商 法	該当なし					……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成28年10月	金 融 論	後任未定					平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成28年4月	○○○○論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
8	6	0	4	18	6	7	0	1	14	6	8	0	4	18
(8)	(6)	(0)	(4)	(18)						[Δ2]	[2]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 生命機能学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	<p>該当なし</p>
--	-------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
記入例
・平成28年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法
記入例
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画
記入例
・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学

(3) 大学の位置

〒790-8566
愛媛県松山市樽味3丁目5番7号
(〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事		該当なし	
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 生物環境学科 学士 (農)	4年	55人	3年次人	226人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 () []	-	()	()	()	()	()	()	1.05倍	
志願者数	92 () []	- () []	()	()	()	()	()	()		
受験者数	73 () []	- () []	()	()	()	()	()	()		
合格者数	63 () []	- () []	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	58 () []	- () []	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 58	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 58	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	58 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	58 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 生物環境学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
初年次科目	新入生セミナーA	1①	2									兼1		
	新入生セミナーB	1②	2				4					兼7 兼1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	こころと健康	1①②	2									兼9 兼20	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	スポーツ	1①②	1									兼16 兼5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
基礎科目	英語Ⅰ	1①	1									兼16 兼6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	英語Ⅱ	1②	1									兼14 兼6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	英語Ⅲ	1③	1									兼14 兼6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	英語Ⅳ	1④	1									兼9 兼6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	情報リテラシー入門Ⅰ	1①	1									兼12 兼2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	情報リテラシー入門Ⅱ	1②	1									兼12 兼1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	社会力入門	1④	1				1					兼3 兼5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	日本語リテラシー入門	1② 1③	1									兼9 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	解析学入門	1①②	2									兼3		
	愛媛学	1②	1									兼5 兼2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
主題探求型科目	環境を考える	1③④・2①②		1		1		2 1			1	兼14 兼3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	倫理と思想を考える	1③④・2③④ 2③④		1								兼4 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	歴史を考える	1③④・2②③④		1								兼6 兼9	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	ことばの世界	1③④・2①②		1								兼8 兼4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	芸術の世界	1③④・2①②		1								兼8 兼4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	地域と世界	1③④・2②③④		1								兼5 兼11	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	社会のしくみを考える	1③④・2②③④		1								兼10 兼6	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	現代社会の諸問題	1③④・2②③④		1			1					兼25 兼16	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	現代と科学技術	1③④・2③④ 2③④		1			1	1				兼14 兼5	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	自然のしくみ	1③④・2③④		1				2				兼9 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
生命の不思議	1③④・2③④		1				3	2			兼7 兼12	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)		
学問分野別科目	総合分野	環境学入門	1①②③④・2③④		1		1					兼2 兼3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
		人間科学入門	1①②③④・2①②		1							兼1 兼3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
		生活科学入門	1①②③④・2③④		1							兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
	人文学分野	哲学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		文学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		言語学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		歴史学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		考古学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	社会科学分野	法学入門	1①②③④・2③④ 1③④		1								兼3 兼1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		政策科学入門	1①② 1③④		1								兼3 兼1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
経済学入門		1①②③④・2①②		1								兼1 兼6	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
社会学入門		1①② 1③④		1								兼3 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
自然科学分野	心理学入門	1①②③④ ④・2①②		1								兼1	科目間の担当教員調整の結果、平成29年度以降に開講(28)	
	日本国憲法	1③④		2								兼4 兼1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)	
	数学入門	1①② 1⑦②		1								兼4 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)	
教養科目	自然科学分野	物理学入門	1①②③④・2①②		1								兼1 兼3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		化学入門	1①②③④・2③④		1								兼2 兼4	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		生物学入門	1①② 1③④		1				1				兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		地学入門	1①② 1⑦②		1								兼2 兼1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
		工学入門	1①② 1⑦③④		1								兼1 兼2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)

		農学入門	1	1				兼 1	農学部学生向けには、1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため(28)
共通 教育 科目	初修 外 国 語	初級ドイツ語Ⅰ	1①		1		1	兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級ドイツ語Ⅱ	1②		1		1	兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級ドイツ語Ⅲ	1③		1		1	兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級ドイツ語Ⅳ	1④		1		1	兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級フランス語Ⅰ	1①		1			兼 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級フランス語Ⅱ	1②		1			兼 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級フランス語Ⅲ	1③		1			兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級フランス語Ⅳ	1④		1			兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級中国語Ⅰ	1①		1			兼 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級中国語Ⅱ	1②		1			兼 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級中国語Ⅲ	1③		1			兼 6	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級中国語Ⅳ	1④		1			兼 5	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級朝鮮語Ⅰ	1①		1			兼 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級朝鮮語Ⅱ	1②		1			兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級朝鮮語Ⅲ	1③		1			兼 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級朝鮮語Ⅳ	1④		1			兼 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
		初級フィリピン語Ⅰ	1①		1			兼 1	
		初級フィリピン語Ⅱ	1②		1			兼 1	
		初級フィリピン語Ⅲ	1③		1			兼 1	
		初級フィリピン語Ⅳ	1④		1			兼 1	
科 教 養 目 高 年 次	文系主題科目	2③④		2				兼 5	
	理系主題科目	2③④		2				兼 3	
養 英 語 コ ー ス に 関 ス ル 科 目	Oral Communication	2①②③④			2			兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	Speaking & Reading Strategies	2①②③④			2			兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	Effective Presentations	2①②③④			2			兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	Writing Workshop	2①②③④			2			兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	Academic Reading	2①②			2			兼 1	
	Writing Strategies	2③④			2			兼 1	
	Discussion Skills	2③④			2			兼 1	
	English For Academic Research	2①②			2			兼 1	
	Business English	2③④			2			兼 1	
	Introducing Japanese Culture in English	2①②			2			兼 1	
	Oral Performance	2③④			2			兼 1	
	Introductory Interpretation	2①②			2			兼 1	
Studying English Abroad I	1①②			2			兼 1		
Studying English Abroad II	1③④			2			兼 1		
愛 媛 大 学 リ ー ダ ー ズ ・ ス ク ー ル に 関 ス ル 科 目	愛媛大学リーダーズ・スクール	1①②③④			2			兼 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	グローバル・リーダーシップⅠ	1③④			1			兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	グローバル・リーダーシップⅡ	1③④			1			兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
サ ー バ ン ト ・ リ ー ダ ー ズ に 関 ス ル 科 目	地域未来創成入門	1①②③④			1		1	兼 1	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	カルチャーシェアリング	1①②			1		1	兼 3	共通教育科目改編による教員配置見直しのため(28)
	ベーシック国内サービスラーニング	1①②			4		1	兼 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	アドバンスド国内サービスラーニング	1①② 1①②			4		1	兼 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	ベーシック海外サービスラーニング	1③④			4		1	兼 3	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
	アドバンスド海外サービスラーニング	1③④ 2③④			4			兼 2	共通教育科目の改編による配当年次及び教員配置の見直しのため(28)
環 境 E S D 指 導 者 に 関 ス ル 科 目	持続可能な社会づくり(ESD)	1①②			2		1	兼 1	
	環境ESD指導者養成講座Ⅰ	1③④			4		1	兼 1	
	環境ESD指導者養成講座Ⅱ	2①②			4		1	兼 1	
	環境ESD指導者養成演習Ⅰ	2③④3①②			2		1	兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
	環境ESD指導者養成演習Ⅱ	2③④3①②			2		1	兼 1	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)
ス キ ル ア	英語S1	1①②			2			兼 1	
	英語S2	1③④			2			兼 1	
	英語S3	2①②③④			2			兼 7	共通教育科目の改編による配当年次の見直しのため(28)

留學生対象科目	ドイツ語 S 1	2①②③④			2					兼 1	共通教育科目の改編のため科目を追加 (28)
	ドイツ語 S 2	2①②③④			2					兼 1	共通教育科目の改編のため科目を追加 (28)
	ライフスポーツ	2①②			1					兼 2	
	食育入門	1③④			1					兼 1	共通教育科目の改編による教員配置の見直しのため (28)
	食育総論	2①②			2	2	1			兼 3	共通教育科目の改編による教員配置の見直しのため (28)
	環境防災学	1①②			2					兼 1	
	スポーツと教育	1③④			1					兼 4	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	知の最前線に学ぶ	2③④			1					兼 3	
	プロジェクト学習	2③④			2					兼 3	
	アカデミックジャパニーズ 1	1①			1					兼 1	
	アカデミックジャパニーズ 2	1②			1					兼 1	
	アカデミックジャパニーズ 3	1③			1					兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	アカデミックジャパニーズ 4	1④			1					兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)
	日本語 A 1	1①②			2					兼 2	
	日本語 A 2	1③④			2					兼 2	
	日本語 B 1	1①②			2					兼 2	
	日本語 B 2	1③④			2					兼 2	
	日本語口頭表現 C 1	1①②			1					兼 1	
	日本語口頭表現 C 2	1③④			1					兼 1	
日本語読解作文 C 1	1①②			1					兼 1		
日本語読解作文 C 2	1③④			1					兼 1		
日本語口頭表現 D 1	1①②			1					兼 1		
日本語口頭表現 D 2	1③④			1					兼 1		
日本語読解作文 D 1	1①②			1					兼 1		
日本語読解作文 D 2	1③④			1					兼 1		
日本語口頭表現 E 1	1①②			1					兼 1		
日本語口頭表現 E 2	1③④			1					兼 1		
日本語読解作文 E 1	1①②			1					兼 1		
日本語読解作文 E 2	1③④			1					兼 1		
日本語総合 E 1	1①②			1					兼 1		
日本語総合 E 2	1③④			1					兼 1		
日本語漢字 A 1	1①②			2					兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
日本語漢字 A 2	1③④			2					兼 2	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
日本語漢字表記 B 1	1①②			1					兼 1	共通教育科目改編による教員配置見直しのため (28)	
日本語漢字表記 B 2	1③④			1					兼 1		
日本語漢字語彙 B 1	1①②			1					兼 1		
日本語漢字語彙 B 2	1③④			1					兼 1		
日本事情 A 1	1①②			2					兼 1		
日本事情 A 2	1③④			2					兼 1		
日本事情 B 1	1①②			2					兼 2		
日本事情 B 2	1③④			2					兼 1		
学部共通科目	現代農業論	1 1前	2		3 6	3 2		1		兼 9	教育効果を高めるため、開講時期を変更。担当教員昇任のため職位の変更及び教育体制強化のため教員数を増加 (28)
	農学実習 I E	1前	0.5		12	15 16		3 2		兼 8	担当教員昇任のため、職位を変更 (28)
	農学実習 I F	1後	0.5		12	15 16		3 2		兼 8	担当教員昇任のため、職位を変更 (28)
	統計学入門	1後	2		1	1				兼 1	
	技術者の初歩	2前	2		1					兼 1	
	農学先端研究	2~4	1							兼 1	
	地域プロジェクト	1~4	2							兼 1	
	キャリアデザイン	3・4	2		1					兼 1	
	現代応用生物科学	2後	1		1					兼 1	
	植物工場システム学	3前	2							兼 14	
森林資源学概論	1後	2		3 4	7		1			兼 1	教育体制強化のため、教授1名増 (28)
地域環境工学概論	1後	2		3	4 5		1			兼 1	担当教員の昇任のため、職位を変更 (28)
環境保全学概論	1後	2		5	4		1			兼 1	

学科共通科目	物理学	1前		2		4	6 7		+		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	化学	1後		2		1	2				教育体制強化のため、准教授2名増(26)	
	生物学	1後		2		1	5				教育体制強化のため、教授1名増(28)	
	地学	1前		2						兼 1		
	インターンシップ	2・3	2			11	15 16		3 2		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	生物環境気象学	2前		2		1						
	水環境学	2前		2		1	2 3		+		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	海洋環境学	2前		2		2	1					
	環境土壌学	2前		2		1	2					
	環境基礎生態学	2前		2		1						
	環境生態毒性学	3前・4前		2			1					
	水環境先端分析学	3前・4前		2		1	2					
	現代遺伝学	2前・3前・4前		2			1					
	環境分子生物学	2後・3後・4後		2			1					
	地域防災学	3前・4後		2			1					
	特別講義	3・4		4							兼 3	
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1		4	6 7		+		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1							兼 13	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1		3	5		1			
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	3前		1							兼 1	
職業指導	3後		2							兼 1		
森林資源学コース	森林科学入門	2前	4			3	7		1			
	基礎有機化学	2前		2			1					
	森林生態学	2前		2		1	1					
	森林工学	2・3後		2						兼 1		
	森林資源学セミナー	2・3後	2			3	7		1			
	測量学	2後	2							兼 1		
	測量学実習	2後	1							兼 1		
	森林科学Ⅰ(木を見て森を見る・森を測る)	2後	8			1	5					
	森林科学Ⅱ(森を使う・森で稼ぐ)	2後	8			2	4					
	森林科学Ⅲ(森林科学総合学習)	3前	4			3	7		1			
	森林測量学	3前	2				1					
	森林遺伝育種学	3前		2			1					
	森林資源計測学	3前		2			1					
	森林資源材料学	3前		2		1	1					
	森林水文学	3前		2			1					
	森林・林業白書講読	3前		1			1					
	森林資源化学	3前		2			1					
	森林資源化学実験	3前		2			1					
	森林資源学スタディツアー	3前		1		3	7		1			
	森林教育学	3前		2			1					
	実践森林・林業教育	3前		2			1					
	森林保護学	3・4前		2							兼 1	
	造林学	3後		2			1					
	森林修復再生学	3後		2				1				
	治山・砂防学	3後		2				1				
	森林資源計画学	3後		2				1				
	木材工学	3後		2		1	1					
流域森林管理論	3後		2			1						
森林測量学演習実習	3	2					1					
専門教育科	地域環境工学キャリアデザイン	2前	1			3	4 5		+		担当教員の昇任のため、職位を変更(28)	
	構造力学Ⅰ	2前	2				1					
	水理学Ⅰ	2前	2				1					
	土壌物理学	2前	2				1					

目	生物環境学科	専門科目	地域環境工学コース	環境保全学コース	農村水環境科学	資源再生利用科学
応用数学	2前	2			2	
土壌物理性実験	2前	1			1	1
パソコン演習	2前		2		1	2
構造力学Ⅱ	2後	2			1	
水理学Ⅱ	2後	2			1	
測量学	2後	2				
測量学実習	2後	1			2	3
農村計画学Ⅰ	2後	2			1	
土質力学	2後	2			1	
水文学	2後	2			1	
土質・材料実験	2後	1			1	1
地域環境工学現地実習	2後	1			3	4
応用測量学	3前	2				5
応用測量学実習	3前	1			3	
農村計画学Ⅱ	3前	2			1	
地盤工学	3前	2			1	
水環境実験	3前	1			1	1
土木材料及び施工法	3前(4前)	2			1	2
地域設計・計画演習	3後	2			1	
外書講読	3後	2			3	4
水利施設工学	3後	2			1	5
環境水資源工学	3後	2				
土木事業における関連法令	3後	2			1	1
農村環境設計学	3後	2			1	
地域環境整備学	3後	2			1	1
農地水循環論	3前	2			1	
地域環境工学演習	4	2			3	4
地域環境工学技術英語	4	2			3	4
						5
環境基礎数学	2前	2			1	
環境保全学実験Ⅰ	2前	4			1	1
水産生物学	2後	2			1	
環境生化学	2後	2			1	
環境物理化学	2後	2			1	
環境化学	2後	2			1	
水圏動物生理学	2後	2			1	
環境とエネルギーの化学	2後	2				
生態系保全学	2後	2			1	
環境保全学実験Ⅱ	2後	2			1	
環境保全学実験Ⅲ	2	4			2	1
環境熱力学	3前	2			1	
環境計量論	3前	2				
環境機器分析学	3後	2			1	
動物発生学	3後	2				1
環境保全セミナー	3・4	4			4	4
応用生態学実験	3・4	3			1	
水族保全学実習	3・4	3			1	
分子生態学実習	3・4	3			1	
環境産業応用化学実験	3・4	3			1	
環境計測学実験	3・4	3			1	
水族繁殖生理学実習	3・4	3			1	1
環境産業科学実験	3・4	3				
環境生理科学実験	3・4	3			1	1
農村水環境科学	2前	2			1	
資源再生利用科学	2後	2			1	1

水環境再生科学特別コース	水環境分析実習	2後	2			1	1				
	環境分子生物学実習	2後	2				1				
	英語プレゼンテーションⅠ	3前	2			1	1				
	水処理科学	3前	2			1					
	水環境現地調査	3後	2			1	1				
	水処理実験	3後	2			1	1				
	海外論文読解	3後	2			1	1				
	英語プレゼンテーションⅡ	3後	2			1	1				
	水環境再生科学演習	4	4			1	1				
	学会プレゼンテーション	4	4			1	1				
卒業論文		3後・4 又は 3・4前	6			9	15		3		

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 74	科目 107	科目 90	科目 271	科目 74	科目 106	科目 92	科目 272	
				[]	[Δ1]	[2]	[1]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	心理学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	科目間の担当教員調整の結果，平成29年度以降に開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	農学入門	1	1①②③ ④・2①②	一般	選択	他学部学生向けには開講しているが，農学部学生向けには，1年次に専門教育の学部共通科目「現代農業原論」を開講するため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見…本学の教育・学生支援機構共通教育センターにおいてカリキュラム改訂に伴う共通教育科目の科目改編を行い，科目間の担当教員を調整の結果，「心理学入門」については，平成29年度以降に開講することとなった。また，1年次に専門教育の学部共通科目において，農学の基礎を学ぶ「現代農業原論」を開講することに鑑み，「農学入門」は受講対象外とすることとした。いずれも履修機会の多様性は若干縮小されるが，併せて科目の追加もっており，基礎的知識の習得には特に影響はない。

学生への周知方法…掲示，時間割表，履修案内等の冊子類及び新入生への履修指導のガイダンスにより周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{2}{271} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		〇〇学部 〇〇学科		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部									
人文科学科									
(昼間主コース)	4	275	3年次10	1120	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.04	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
(夜間主コース)	4	90	3年次20	400	学士 (法学・政策学、学術、人文学)	1.07	平成28年度	〃	
総合政策学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (総合政策、法学、経済学)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
人文学科									
(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文)	-	平成8年度	〃	平成28年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士 (教育学)	1.09	平成11年度	愛媛県松山市文京町3番	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	〃	
総合人間形成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
スポーツ健康科学課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
芸術文化課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	〃	平成28年度より学生募集停止
社会共創学部									
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.05	平成28年度	愛媛県松山市文京町3番	
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創学)	1.02	平成28年度	〃	
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創学)	1.08	平成28年度	〃	

理学部											
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.10	平成17年度	愛媛県松山市 文京町2番5号			
物理学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	平成17年度	〃			
化学科	4	52	-	208	学士 (理学)	1.05	平成17年度	〃			
生物学科	4	43	-	172	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃			
地球科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.03	平成17年度	〃			
医学部											
医学科	6	110	2年次 5	673	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	愛媛県東温市 志津川			
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.01	平成6年度	〃			
工学部											
機械工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	愛媛県松山市 文京町3番			
電気電子工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	平成3年度	〃			
環境建設工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.06	平成8年度	〃			
機能材料工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.05	平成8年度	〃			
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.05	平成3年度	〃			
情報工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.07	平成3年度	〃			
(学科共通)	-	-	3年次 10	20							
農学部											
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.08	平成28年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号			
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	平成28年度	〃			
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.05	平成28年度	〃			
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	昭和63年度	〃			平成28年度より 学生募集停止
法文学研究科											
(修士課程)											
総合法政策専攻	2	15	-	30	修士 (法学、経済学、学 術)	0.50	平成10年度	愛媛県松山市 文京町3番			
人文科学専攻	2	10	-	20	修士 (人文科学)	0.90	平成10年度	〃			
教育学研究科											

(修士課程)											
特別支援教育専攻											
特別支援学校教育専修	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.10	平成17年度	愛媛県松山市 文京町3番			
特別支援教育コーディネーター専修	1	6	-	6	修士 (教育学)	0.75	平成17年度	〃			
教科教育専攻	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.80	平成5年度	〃			
学校臨床心理学専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.33	平成16年度	〃			
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成5年度	〃			平成28年度より 学生募集停止
(専門職学位課程)											
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.26	平成28年度	〃			
医学系研究科											
(博士課程)											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.92	平成18年度	愛媛県東温市 志津川			
(修士課程)											
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.81	平成10年度	〃			
理工学研究科											
(博士前期課程)											
生産環境工学専攻	2	62	-	124	修士 (工学)	1.15	平成18年度	愛媛県松山市 文京町3番			
物質生命子医学専攻	2	61	-	122	修士 (工学)	1.02	平成18年度	〃			
電子情報工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	0.79	平成18年度	〃			
数理物質科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	0.90	平成18年度	〃			
環境機能科学専攻	2	28	-	56	修士 (理学)	0.81	平成18年度	〃			
(博士後期課程)											
生産環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	1.66	平成18年度	〃			
物質生命子医学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	平成18年度	〃			
電子情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.91	平成18年度	〃			
数理物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.58	平成18年度	〃			
環境機能科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.91	平成18年度	〃			
農学研究科											
(修士課程)											
食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	0.76	平成28年度	愛媛県松山市樽 味3丁目5番7号			

生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.91	平成28年度	〃	
生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.73	平成28年度	〃	
生物資源学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成9年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
連合農学研究科 (博士課程)									
生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学 術)	0.88	昭和60年度	愛媛県松山市榑 味3丁目5番7号	
生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	2.16	昭和60年度	〃	
生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学 術)	1.00	昭和60年度	〃	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は, 専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)

(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 生物環境学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	○○○○ (○○)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成26年4月	国際経済学	平成26年3月 ○○○教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成26年4月	商法	該当なし					……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成28年10月	金融論	後任未定					平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成28年4月	○○○○論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については,本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
16	19	0	2	37	13	18	0	2	33	15	18	0	2	35
(14)	(19)	(0)	(3)	(36)						[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ2]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
該当なし							
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 生物環境学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>該当なし</p> </div>
--	---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・平成28年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）
・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28年 6月 1日)